

2018 年度 科学研究費の公募について

2017 年 7 月 10 日
研究推進部 研究資金課
相模原事務部 研究推進課

科学研究費は、我が国の代表的な研究助成制度であり、人文・社会・自然科学・複合領域・学際領域等すべての領域が対象となっています。現在、先生方が取り組んでおられる個々の研究課題を、科学研究費に申請いただくことにより、我が国の学術の振興につながると共に、本学の研究力を社会に示していく機会ともなります。また、機関としての採択状況は、私学助成金の配分、各種競争的資金等の審査における評価項目の一つにもなっており、全学的に採択件数を増やしていくことが望まれます。

つきましては、科学研究費に応募を希望される方は夏期休暇期間をご利用いただき、研究計画の立案、複数の研究者で研究を行う場合には、研究者間の連絡調整をお進めください。

1. 公募情報・学内スケジュール

「研究計画調書等」学内締切： 2017 年 10 月中旬頃の予定。公募要領公表後(9 月上旬頃)、研究推進部ホームページで応募登録及び締切についてお知らせします。 URL：<http://rs.aoyama.ac.jp/>

2. 2018 年度公募の変更点

①研究計画調書： 記載方法が大きく変わることが予告されています。以前に作成された研究計画調書から転用する際は特に注意が必要です。

②審査方式： 従来の「系・分野・分科・細目表」に代わって小区分、中区分、大区分からなる「審査区分表」が導入され、審査方式も抜本的に変更されます。応募を希望される方は以下のサイトの資料を必ずご確認ください。

「科研費審査システム改革 2018」説明会当日資料等（文部科学省科研費改革サイト）

http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/1370487.htm

③研究種目： 若手研究(A)は基盤研究(B)に統合されて廃止となり、若手研究(B)が「若手研究」として公募の予定です。経過措置として基盤研究(B)は当面の間、若手研究者を重視する方針との説明がありました(上記説明会)。また、研究成果公開促進費は応募手続きが電子化されます。

3. 公募要領・計画調書の掲載ページ（2018 年度の公募要領は 2017 年 9 月上旬公表予定）

現在、2017 年度版の計画調書等をダウンロードすることができますので、計画立案準備用としてご利用ください。ただし、前述のとおり 2018 年度は計画調書の書き方が変わる予定です。

新学術領域研究（研究領域提案型）⇒ 文部科学省ホームページへ

http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/boshu/1361248.htm

特別推進研究・基盤研究・挑戦的萌芽研究・若手研究 ⇒ 日本学術振興会ホームページへ

http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/03_keikaku/download.html

研究成果公開促進費 ⇒ 日本学術振興会ホームページへ

http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/13_seika/keikaku_dl.html

国際共同研究加速基金 ⇒ 文部科学省ホームページへ

http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/boshu/1351544.htm

4. 夏期休暇期間中に準備しておくべき事項

①研究組織（研究代表者、研究分担者、連携研究者）の連絡調整（複数の研究者で研究する場合のみ）

応募時の記載事項として、各研究者の役割分担、分担金の配分額（連携研究者は不要）、エフォートの割合（連携研究者は不要）、研究業績（査読の有無が必要）、研究者番号、部局番号等の情報が必要となりますので適宜連絡調整をお進めください。なお、計画調書提出時には「研究分担者承諾書」が必要となりますので連絡調整と同時にご手配ください。

②研究計画の立案

採択されるためには、研究目的・研究計画等を十分練り上げ、分かりやすいものにする必要があります。2017 年度版の計画調書（上記 URL からダウンロードが可能）を利用するなどして、研究計画等の立案をお進めください。

5. 電子申請について

科研費の研究計画調書は「応募情報(前半部分)」と「応募内容ファイル(後半部分)」で構成されています。

- 「応募情報(前半部分)」は日本学術振興会の電子申請システムの画面上で直接入力してください。

電子申請システム URL <http://www-shinsei.jspss.go.jp/index.html>

- 「応募内容ファイル(後半部分)」は、日本学術振興会のホームページから書式をダウンロードして作成してください。(作成途中のファイルはご利用のパソコン等に word ファイル等として保存することができます。) 完成した「応募内容ファイル」を電子申請システム上で pdf ファイルに変換し「確認完了・提出」ボタンを押していただくとともに、別途メールにて word 版のファイルを研究推進部宛お送りください。(締切：2017 年 10 月中旬予定)

科学研究費補助金 研究種目一覧【 昨年度参考 】

| | | |
|--|---|-----------------------|
| 特別推進研究 | 国際的に高い評価を得ている研究であって、格段に優れた研究成果をもたらす可能性のある研究 (期間 3～5 年、1 課題 5 億円程度を応募総額上限の目安とするが、上限、下限とも制限は設けない) | |
| 新学術領域研究 (研究領域提案型) | 研究者又は研究者グループより提案された、我が国の学術水準の向上・強化につながる新たな研究領域について共同研究や研究人材の育成等の取り組みを通じて発展させる (期間 5 年、単年度当たりの目安 1 領域 1,000 万円～3 億円程度) | |
| 基盤研究(S) | 一人又は比較的少人数の研究者が行う独創的・先駆的な研究 (期間原則 5 年、1 課題 5,000 万円以上 2 億円程度まで) | |
| 基盤研究 (A)・(B)・(C) | 一人又は複数の研究者が共同して行う独創的・先駆的な研究 (期間 3～5 年間、応募総額により A・B・C に区分) | |
| | | 金額 |
| | (A) | 2,000 万円以上 5,000 万円以下 |
| | (B) | 500 万円以上 2,000 万円以下 |
| | | 審査区分 |
| (C) | 500 万円以下 | 「一般」「特設分野研究」 |
| 挑戦的研究 (開拓)・(萌芽) | 一人又は複数の研究者で組織する研究計画であって、斬新な発想に基づき、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを志向し、飛躍的に発展する潜在性を有する研究計画 なお、(萌芽)については、探索的性質の強い、あるいは芽生え期の研究計画も対象とする (開拓) 期間 3～6 年間、500 万円以上 2,000 万円以下 (萌芽) 期間 2～3 年間、500 万円以下 | |
| 若手研究(A)・(B) ※ 2018 年度公募では 「若手研究」 | 若手研究者(研究開始年度の 4 月 1 日現在において 39 歳以下)が一人で行う研究 (期間 2～4 年間、応募総額により A・B に区分) (A) 500 万円以上 3,000 万円以下 (B) 500 万円以下 | |
| 研究成果公開促進費 | 学術図書、データベース、研究成果公開発表 | |
| 研究活動スタート支援 | 研究機関に採用されたばかりの研究者や、育児休業等から復帰する研究者等が一人で行う研究 (期間 2 年以内、単年度当たり 150 万円以下) ※ 公募時期が他の研究種目と異なるため、対象者には個別にご案内します。 | |
| 国際共同研究加速基金 | | |
| 国際共同研究強化 | 科研費に採択された研究者が半年から 1 年程度海外の大学や研究機関で行う国際共同研究 (1,200 万円以下) | |
| 国際活動支援班 | 新学術領域研究における国際活動への支援(領域の設定期間、単年度当たり 1,500 万円以下) | |
| 帰国発展研究 | 海外の日本人研究者の帰国後に予定される研究(期間 3 年以内、5,000 万円以下) | |

6. 重複申請の制限

複数の研究種目に申請される場合には、重複制限がありますのでご注意ください。(詳しくは「公募要領」を参照ください。)

○応募登録書・研究計画調書の提出先・申請に関するお問い合わせ先

青山キャンパス 研究推進部 研究資金課

直通 03(3400)1204、FAX03(3409)4184、内線 12343、12427 E-Mail: gks@aoyamagakuin.jp

相模原キャンパス 相模原事務部 研究推進課

直通 042(759)6056、FAX042(759)6042、内線 42097、42096 E-Mail: kenkyuusienu@aoyamagakuin.jp

ホームページ <http://rs.aoyama.ac.jp/> (青山、相模原共通)